

令和7年10月30日
総務課企画管理・文書グループ
担当 下濱、成澤
(内線) 3362、3375
(外線) 076-225-1231

根室市北方領土返還要求キャラバン隊による北方領土返還要求運動
石川県民会議会長（県議会議長）及び知事表敬について

- 1 日 時 令和7年11月6日（木）11時～11時20分
- 2 場 所 庁議室（県庁行政庁舎4階）
- 3 応 対 者 北方領土返還要求運動石川県民会議
会長 安居 知世（石川県議会議長）
石川県副知事 徳田 博
- 4 表 敬 者 計19名
北海道根室市長 石垣 雅敏（いしがき まさとし）
根室市議会議長 遠藤 輝宣（えんどう てるのぶ）
千島歯舞諸島居住者連盟根室支部
（事務局長、元島民4名、後継者3名）
北海道根室高等学校北方領土根室研究会（生徒4名、引率1名）
ほか
- 5 来県目的 北方領土返還要求運動原点の地「根室市」から、元島民をはじめ高校生等の後継者をキャラバン隊として北陸圏へ派遣し、元島民から後継者までの返還要求運動にかける熱意を強く訴え、国民世論のより一層の喚起高揚を図る。

北方領土返還要求キャラバン隊特別派遣事業 実施要領

1. 趣 旨

令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻以降、長年積み重ねられてきた平和条約締結交渉が中断され、さらに、30年続けられてきた北方四島交流事業や自由訪問がロシア政府より停止されるなど、日露関係は極めて厳しい状況が続いている。

このような厳しい状況を踏まえ、原点にかえり、北方領土返還要求運動原点の地「根室市」から、元島民をはじめ高校生等の後継者をキャラバン隊として北陸圏へ派遣し、各県庁や県民会議への表敬のほか、啓発資材の配布、中学校での交流などの特別啓発を通じて、元島民から後継者までの返還要求運動にかける熱意を強く訴え、国民世論のより一層の喚起高揚を図ることを目的として実施する。

2. 啓発内容

①北陸圏の各県庁を訪問し、副知事等、県民会議会長等へ表敬

（北陸圏：石川県庁、富山県庁）

②姉妹都市黒部市を訪問し、市長へ表敬

③北陸圏の施設等での啓発資材配布等による啓発

（金沢駅前東口付近、富山駅構内）

④北陸圏の学校との交流

（石川県立金沢錦丘中学校、黒部市立清明中学校、黒部市立明峰中学校）

3. 期 間

令和7年11月5日（水）～8日（土） ※移動日を含め3泊4日の行程

4. 訪問先

1日目：移動（根室市⇒富山市⇒金沢市）

（①啓発：金沢駅前東口、②学校交流：石川県立金沢錦丘中学校）

2日目：石川県金沢市 （①表敬：石川県庁）

：富山県富山市 （①表敬：富山県庁、②啓発：富山駅構内）

3日目：富山県黒部市

（①表敬：黒部市、②学校交流：黒部市立清明中学校、黒部市立明峰中学校）

4日目：移動 （黒部市⇒富山市⇒根室市）

5. キャラバン隊員

理事者等（市長、議長、随員） 3名

元島民、後継者及び随行者 8名

北海道根室高等学校北方領土根室研究会（生徒・引率） 5名

事務局（市北方領土対策課） 3名

計 19名

北方領土返還要求特別キャラバン隊参加者名簿（順不同、敬称略）

	氏 名	ふりがな	所属団体	役職名	備 考
1	石垣 雅敏	いしがき まさとし	根室市	市長	
2	遠藤 輝宣	えんどう てるのぶ	根室市議会	議長	
3	角鹿 泰司	つのか やすじ	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部	支部長	元島民
4	河田 弘登志	かわた ひろとし	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部		元島民
5	古林 貞夫	ふるばやし さだお	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部		元島民
6	鈴木 咲子	すずき さきこ	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部		元島民
7	原田 純子	はらだ じゅんこ	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部	副支部長	元島民2世
8	米屋 聡	よねや さとし	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部	副支部長	元島民2世
9	荒井 秀子	あらい ひでこ	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部、後継者「かけはしの会」		元島民2世
10	園田 達弥	そのだ たつや	千島歯舞諸島居住者連盟根室支部	事務局長	
11	鈴木 拓磨	すずき たくま	北海道根室高等学校北方領土根室研究会		元島民4世
12	角 冬陽	かく とうや	北海道根室高等学校北方領土根室研究会		元島民3世
13	日浦 悠真	ひうら ゆうま	北海道根室高等学校北方領土根室研究会		元島民4世
14	久保 こころ	くぼ こころ	北海道根室高等学校北方領土根室研究会		元島民3世
15	富谷 進	とみや すすむ	北海道根室高等学校北方領土根室研究会	顧問	教諭
16	石橋 直巳	いしばし なおみ	根室市北方領土・国際交流部	部長	
17	齊藤 昌洋	さいとう まさひろ	根室市北方領土・国際交流部北方領土対策課	北方領土対策主査	
18	菊田 政和	きくた まさかず	根室市総務部総務課	秘書主査	元島民3世
19	青木 太陽	あおき たいよう	根室市北方領土・国際交流部北方領土対策課	主任	

北方領土返還要求キャラバン隊の実施経過等

はじまりと事業実施主体

キャラバン隊派遣事業は、昭和42年11月に北方領土返還問題に対する国民世論を全国的な運動として発展させる目的で、隊員20名車輛8台の規模により、根室市長の返還要求に関する支援と協力要請のメッセージを携え、道内48市町村を訪問したのがはじまりである。

昭和43年も同様の趣旨で道内を、さらに昭和44年は北海道知事のメッセージを添え、派遣地を本州にまで拡大し、全国規模の北方領土返還要求運動として実施したところである。

昭和45年以降は、北方領土返還要求北海道キャラバン隊実行委員会が、平成2年以降は千島歯舞諸島居住者連盟(以下、千島連盟)が、本事業をそれぞれ継承し実施している。

昭和63年度～平成12年度までの実施状況

事業を継承した千島連盟は、「後継者キャラバン隊」として、道内の主要都市に延べ150名の元島民後継者が訪問し、地元首長等へ理事長のメッセージを手交するとともに街頭署名活動などを行ってきた。

※平成13年度から平成19年度までは事業実施していない。

平成20年度以降の実施状況

平成20年に9年ぶりに事業を復活させ、千島連盟根室管内後継者連絡協議会が中心となって、道内各支部後継者とキャラバン隊を編成し、道内各都市をリレー方式により訪問、署名活動など世論喚起を行い、北海道・東北国民大会の会場で成果を報告した。

その後、青年部の組織化、活性化を図るために事業として継続、千島連盟各支部から後継者が参加し道内の訪問地域の首長等へのアピールとパネル展、署名活動等を行った。

平成24年度からは東北地域への訪問を組み込み、令和元年度以降は、東北を含む道外キャラバンを行うこととしたが、令和2年度、3年度は山形市へ訪問するも新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。

**令和5年度から根室市が実施する北方領土返還要求キャラバン隊特別派遣事業
(趣旨)**

令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻に伴い、長年積み重ねられてきた平和条約締結交渉が中断され、さらに、30年続けられてきた北方四島交流事業や自由訪問がロシア政府により停止されるなど、日露関係は極めて厳しい状況となっている。

このような厳しい状況であることから、原点にかえり、北方領土返還要求運動原点の地「根室市」から、元島民をはじめ、高校生等の後継者をキャラバン隊として、令和5年度は、関東(東京都)、中部(愛知県)・関西(滋賀県)へ派遣、令和6年度は、九州地区(宮崎県・鹿児島県)へ派遣、そして令和7年度は、北陸地区(石川県・富山県)へ派遣し、各県庁や県民会議への表敬のほか、啓発資材の配布、中学校での交流などの特別啓発を通じて、元島民から後継者までの返還要求運動にかける熱意を強く訴え、国民世論のより一層の喚起高揚を図ることを目的に実施するものである。